

1月1日に能登半島沖で発生した地震における安否確認システムについて

【ご意見・ご要望】(投稿日:2024年1月4日)

本学の安否確認システムについて質問があります。

本年1月1日に能登半島沖で発生した最大震度7の地震に関連して、安否確認システムが作動するのかな、と思ったのですが、1月4日現在、私の方では確認できておりません。

そこで以下の3点をお伺いします。

①本学の安否確認システムは手動で操作されており、今回は元旦だったため対応ができなかったのか。

②もし手動で行っている場合、今後も祝日にこのような自体が発生することも考えられるため、一定の基準を設けて自動化を検討する可能性はあるのか。

③もし自動で行っている場合、どのような基準を立てているのか。

大学が始まる日にこのような質問を行うことに心苦しさはあるのですが、全国から学生が集まっている本学だからこそ今回システムが起動しなかったことに疑問を抱いたので、ここに投稿させていただきます。

【回答】(回答日:2024年1月12日)

(回答部署:総務部企画管理主幹付リスク管理掛)

本学の安否確認システム(ANPIC)は24時間継続して稼働していますので、学生や教職員の方々に安否登録を行っていただく依頼メールの発信のこととしてご説明いたします。

例えば地震が発生した場合、安否登録の依頼メールは自動、手動どちらでも対応可能です。

自動での依頼メールは、気象庁が一定の震度を感知、発信した際に連動して送信されるようになっています。本学の場合は、京都府、大阪府、滋賀県で震度6弱以上の揺れを気象庁が感知した場合に、学生、教職員問わず全構成員に安否登録の依頼メールが自動で届きます。

今回の「令和6年能登半島地震」については、これらの要件を満たさなかったため自動の依頼メールがなかったとお考えください。

それら以外に震度が5強以下の地震、台風などの自然災害、パンデミックなど、本学構成員の安否確認が必要と判断した場合や、安否登録の習熟を目的とした訓練を実施する際には手動で依頼メールを発信することがあります。

また、安否登録の依頼メールがなかったとしても、学生や教職員の方々が自主的にご自身の安否を登録していただくことも差し支えございません。大学として定期的に構成員の安否の把握に努めております。